

## 会 議 録

会 議 名 (審議会等名)	平成19年度 第5回 川西市社会教育委員の会		
事 務 局 (担 当 課)	生涯学習部 社会教育課 (内線 3421)		
開 催 日 時	平成19年10月24日(水)11時25分～12時10分		
開 催 場 所	川西市文化会館 4階 第1文化セミナー室		
出 席 者	委 員	生田議長、小柳副議長、敷地委員、後藤委員、佐道委員 武村委員、十河委員、池田委員、福島委員 計9名	
	そ の 他		
	事 務 局	中本生涯学習部長、玉邑生涯学習推進室長 後藤中央公民館長、山川社会教育課長 横田中央公民館主幹、神吉社会教育課主任 計6名	
傍聴の可否	<input checked="" type="checkbox"/> 可・不可・一部不可	傍聴者数	1名
傍聴不可・一部不可の場合は、その理由			
会 議 次 第	1. 報 告 (1) 近畿地区社会教育研究大会(和歌山大会)について (2) 阪神北地区社会教育委員協議会 第1回研修会について (3) その他 2. 議 題 (1) 年間テーマ「よりよい地域教育システムづくり」 (2) サブテーマ「人でつながる場づくり」 3. その他		
会 議 結 果	別紙のとおり		

# 審 議 経 過

No. 1

議長

テーマの方に入らせていただきます。事務局の方から、前回の7月の議事録を送っていただいていると思います。前は社会教育委員の会として、家庭教育に視点を当てた論議を約2時間やっていました。ひとつは、社会教育を中心に論議をしたのですが、母親の交流の場面、家庭教育で子育てを主に中心にしながら各委員さん論議を行っております。

事務局の方からも子育て支援、保育所支援、牧の台、パレットかわにし、総合センター、冊子、母親学級の現状報告がございました。公民館の方におかれましては子育てに絡む所の講座、事業等もやっていらっしゃる事例の報告がございました。

また、委員さんの方から早寝早起き朝ごはんというような問題も提起されておりました。それとNPO、ボランティア活動の視点からの子育ての部分、中学校の子ども達の年代にどのような形で関わるかや、居場所づくりなども含めての論議がされています。校長さんである委員さんからも学校での現場の様子、主に部活動などを中心にした現状報告がございました。また、図書の方に出ておられる委員さんからは読書サポートについての報告があり、中央公民館におかれても子育ての視点からの部分も含めて読書サポートなどの活動を行っていらっしゃる。最後に、団塊の世代の退職後のデビューの状況というのはどんなものだろうか、いろいろな角度からの論議がされておりました。

人をつなげる場づくりで、主に子どもを中心にしながら家庭教育の重要性について、改めて確認と論議が行われたということで終わっております。

あと11月、1月、2月の3回で最後、公運審ということになります。熟知の家庭教育の所で終わってしまっているのですが、これからの進み方の部分で意見をいただけたらと思います。1年前は里山を中心に、具体的な形でレポートをお願いできますか、という形で10月は終わっていました。焦点をどうしましょうか。

# 審 議 経 過

No. 2

A 委員	<p>全体的にするとぼやけてしまうので、今回せっかく家庭教育という視点でわりと話題があったので、焦点を絞ってひとつにまとめてみたらどうでしょうか。家庭教育をどう考えるかということ。</p>
議長	<p>結局議事録を隅から隅まで見ましたら、やはり家庭教育中心で前回ずっと流れておりまして、事務局の方も真摯に現状を出していただいております。出てくるキーワードが昨年と同じように子どもの居場所に絡んでいる部分があったのです。今、A 委員の方からありましたが、次回、的を絞った形で進めていきたいのですがどうでしょうか。</p>
A 委員	<p>今までは子どもの居場所を箱ものとかそういう風な感覚で、つなげるコーディネーターとかいろいろ話は出ましたけれど、元は、一番大事なのはこういうのだよという訴えかけはすごく必要だと思います。本当の形、どれだけ文化が発達しようとも、人間なんて何千年変わっていないのだから根っこの所はこうなんだよ、という根本を知らない人が結構多いのではないかと思うのです。訴えかけというのはすごく大事だと思います。若いお母さんにあるべき姿がわかってない方が多いのではないかとつくづく思います。</p>
議長	<p>子育て、家庭教育が基本中の基本だということは前回の議事録に何回も出てきておりますし、いかがでしょうか。つながるということでB 委員も年度当初こだわられた部分の大切さが改めて論議の中でも出てきておりますが、具体的な形での行動や提言をしていかないといけないのではないかと思います。</p> <p>例えば人とのつながりの部分で、メールや電話 1 本でいとも簡単に何が起こるかわからないような時代であると考えてみますと、私が所属している公民館のグループの方で能勢電車の中でメールや携帯電話をやめさせる運動を起こせないかという話をされて、そういう具体的な方法で、当たり前前はことは当たり前前に声を出すというよ</p>

<p>議長</p>	<p>うなことを言われました。言うのは容易なのだけれど誰が言うか。学校教育などでもそういうことはやっていらっしゃることなのだけど。</p> <p>皆イライラされている。声かけでもしていかないと命に関わることがいくらでも身近にありますので、社会教育が大切だ、家庭教育が大切だと言っているだけではいけないといいますが、何か提言をと思うのですが。</p>
<p>A 委員</p>	<p>市の条例というのは、訴えかけで変えていけるものなのですか。市の条例はどのような風な形で作られるのですか。ここでは携帯は使わせないという条例を出すというわけにはいかないのですか。</p>
<p>議長</p>	<p>ですから、行政や教育委員会が上からこうという部分は、条例の形になるのでしょうかけれど、例えばこういう社会教育委員の会や各委員でいろいろな場面に出ていらっしゃいますので、我々が提言することが必要ではないかと。例えばこの会でしたら、最後は教育委員会の方に1年間のまとめの形の部分で、是非考えていただくのも方法じゃないでしょうかと、決定の方は行政の方でやってもらわないといけません、そういうのをどしどし出していけたらと思うのですが。（A委員の意見について）発想としてはいいですね。</p>
<p>B 委員</p>	<p>議長さんと同じような考え方を持っていて、議論とか話し合うことは大事なのですが、具体性や活動を伴わないと現実是不変というのが私の考えです。</p> <p>この前、教育委員会の生涯学習部から放課後プランをやってみませんかと来られました。とても積極的だなと思いました。それが大事なことだと思うのです。いろいろな条件を考えると非常に困難な部分があるので、私は即座にご返事ができなかったのですが。何とか作りたいなという気持ちはあって、PTAの会長にもこういうも</p>

B 委員	<p>のをうちも作りたいと話したのですが、問題としては場所がない。公民館はどうなのかと考えましたが、学校とは離れてしまうので、私が遠のいてしまう。校長がリーダーシップを取らなければならないと思うのですが、可能性というのをずっと作って行って、作ったらここからいろいろなことが生まれると思っているのです。例えば地域の人と保護者がつながる。子どもとつながる。子どもも縦の系列がつながってくる。もっと極端に申しますと、プライバシーの問題があったりするので安易に保護者が授業の中に入ってもらうことはできないのですが、そういう学習・生活のサポートを発展性としてはあるのです。自分の子どもだけを見るのではなく、いろいろな子を見る目、そしていろいろな子に愛情をかける。そういうのは理屈じゃなくて、そういう活動を通して出てくると思うのです。必ずアホらしいという思いも出てくると思うのです。それを乗り越えて初めて子どものためにしようかということになると思います。そういう具体的な活動、できる活動は何なのかを考えて実践していかないと深まりもないし、現実の変容もない。</p> <p>もうひとつは、この前議長さんも一緒に活動していた、里山の活動があったのですが、その視点から見ていくと抱え込める活動だと考えているのです。いろいろな活動が抱え込めるのです。自分が抱え込んで責任を持つという意味ではなく、連携を取るという意味なのですが。そしてそれぞれが、こういうことをやりましょうよとか、こういうことでがんばりましょうよと発信できる、つながっていく、結びつきを強めることができるのかなと思っています。中々、理想どおりにはいかないですが、そういう第一歩を何で踏み出すか。ただ、そこには誰がその苦勞をするかということが問題になります。</p>
A 委員	<p>里山のことが出ましたが、目に見えて実感するぐらいに変わってきていますね。9年ぐらい前から黒川公民館の文化祭に毎年行かせ</p>

<p>A 委員</p>	<p>てもらっていますが、ここ4、5年ひとつのつながりがものすごくできているように思います。文化祭ひとつに関してもすごく感じられます。地元から変わってきているなと感じます。</p>
<p>C 委員</p>	<p>活動の数から見てもそうですね。</p>
<p>A 委員</p>	<p>最近、行くたびに盛大にというか、すごくつながっているという感覚が実感できるのです。</p>
<p>議長</p>	<p>いろいろな諸団体、社会教育団体もありますし、今、委員さんもいわれたようにこの前も一庫公園で丸一日遊ばせていただいたのですが、地道なコミュニティーも巻き込んだ形の部分で出ておりますので、その中で自然の喜びや挨拶、言葉などがわかってくる。そういうことを我々も確認はしていかななくてはならない。</p> <p>今回は引き続きまして、人でつながる場づくりで具体的な形の部分で進めて、家庭教育の部分は先程私が議事録をまとめてみたのですが、やはり団塊の世代の部分も、清水の講演を聞きましたら、教育行政として何か手が打てないかと思えます。今ちょっと出ました、心の問題、しつけの問題、規範的な問題、メールの問題を含めての例えば約束事、条例などいい発想が出てこないかどうかということも、社会教育委員の会の中でアドバイスや情報発信ができたらと思えます。各地方自治体でもあれっと思うような条例、当たり前のことなのだけど改めて言われたら、市を挙げてやっていこうという動きですのでね。そういう形の部分を我々の方でも出していただければいいかなということ具体的に論じた方がまとめを報告した時に、教育委員会も参考に少しでもしていただけるのではないかと期待しております。</p>